

【第9回】講義概要紹介 12月9日(火)

■ 講師

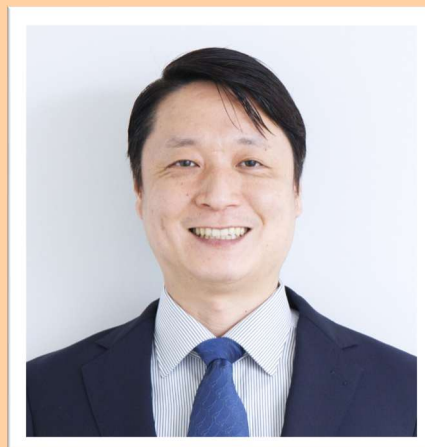
【略歴及び講師紹介】

1982 年 横浜市生まれ

学生起業家としてモバイルゲーム開発事業を立ち上げる。その後、GPU の可能性に着目し、約 18 年にわたり並列処理技術を応用した開発・運用に携わる。

2007 年 株式会社ハイレゾを設立

AI 向け GPU クラウドサービスおよび GPU データセンター構築を推進し、格安の学習用 GPU クラウドを武器に、国内外の AI 研究・産業利用を支援。さらに、地方創生と産業競争力強化を両立する「地域型データセンター戦略」を展開している。経済産業省認定の国家プロジェクト（総額 210 億円、うち補助金 77 億円）を主導し、香川県や鹿児島県などの自治体と連携しながら、日本の AI インフラ整備に尽力している。



志倉 喜幸
(しくら よしゆき)

株式会社ハイレゾ
代表取締役

【株式会社ハイレゾについて】

株式会社ハイレゾは、AI 向け GPU クラウドサービスの提供と GPU データセンター構築を推進する企業です。低コストで高性能な GPU クラウドを通じて、研究機関や産業界の AI 活用を幅広く支援しています。

また、廃校などの地域資源を活用した地域分散型データセンターを展開。自治体との協働により地方創生と持続可能な AI インフラ整備を両立する新しいモデルを実現しています。

■ 講義概要

地方補助金とベンチャーステージの因果関係

- 市区町村・県・国、それぞれの補助金制度と、ベンチャー企業におけるシード・アーリー・レイトーといった各ステージとの関連性
- 実際に「ハイレゾ」の補助金取得事例をもとに、その因果関係を具体的に検証
- 現状の日本のベンチャー企業が地方に進出し、成功を収めた事例を紹介

